



デブレ・ベルハンの馬

Mezemir Girma

Yirgalem Birhanu

日本語 : Kyoko Matsumoto



幼児期からの
おうち算数

Early
Family
Math



Interactive Story

日本語

保護者の方へ

3つのレベル お子さんに合ったレベルを選びましょう。質問やコメントをする時には考える時間を与えましょう。お子さんが答えに詰まった時は手助けをし、正しい答えには少し膨らませた質問やコメントをしてみましょう。

レベル**1** 簡単に直接的な質問をします。見えるものについて尋ねたり指をさしたりしましょう。おもちやはどこかな？何をしているのかな？その名前は何か？色は何か？いくつボールがあるかな？

レベル**2** お話のある部分について一般的な質問または自由に答えられる質問をしてみましょう。ここで何が起きていると思う？この物の仲間は何かな？

レベル**3** お話の筋について質問をしてみましょう。何が起ったのかな？次はどうなるかな？これと似たようなことが前にあったかな？この時、この子はどう感じているかな？

算数のテーマと単語 このお話には、比較する言葉や、数をいくつかにまとめて数える方法が含まれています。学習する単語は、重い、より速い、十分、より多い、きつ過ぎる、年取った、2つずつ数える、等分する、対、対になる/する、奇数、偶数、推計、百、千、百万、辺、反対側、円、長方形です。

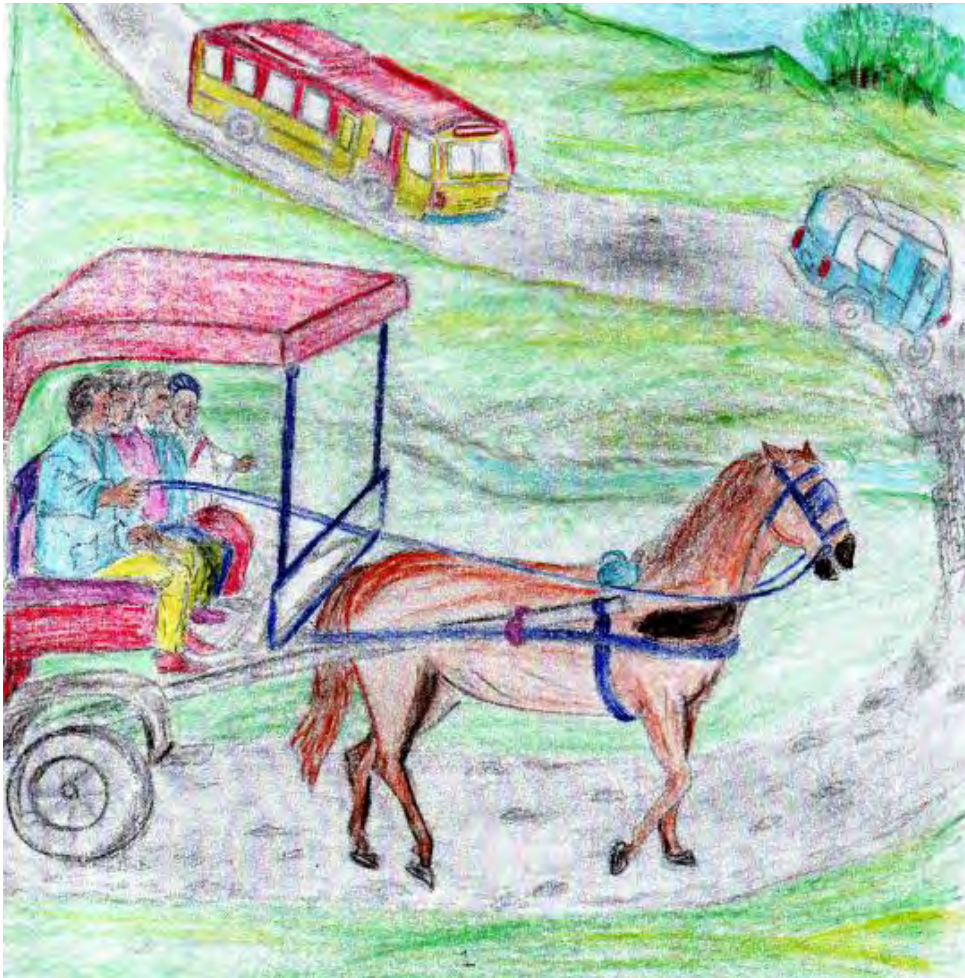
楽しく読んで話しましょう！ 書かれている質問やコメントはほんの一例に過ぎません。

1 回目は赤の質問とコメントを読みます。

2 回目は青の質問とコメントを読みます。

3 回目は緑の質問とコメントを読みます。

その後はお子さんの興味に合わせて、楽しい方向に話を進めてください。



チャルは荷馬車を引く馬です。

エチオピアのデブレ・ベルハンの砂利道で重い荷物を運びながら、朝から晩まで働いています。

1. チャルは、重い荷物を引くという大変な仕事をしています。あなたは、働かされている動物を見たことはありますか？

2. 長方形とは、このページのような、4つのまっすぐな辺で囲まれた形です。この絵の中にあるいくつかの長方形と円を指差してください。

3. 今あなたがいる場所には、長方形がいくつありますか？見つけてみましょう



チャルは、十分な休みも、
十分な食べ物も、もらえません。

荷馬車の運転手は、「もっと
速く走れ！」とチャルをムチ
でたたきます。

1. チャルに対する運転手の態度に
ついてどう思いますか？

2. 自分が望むとおりにして欲しい
ときに動物や人にどのように接し
たらよいでしょう？人に対しては、
「お願いします」と言うことで、
うまくいく場合もあります。

3. あなたは、どうしてもらったら、
その人のために何かしたいと思え
るでしょうか？



ある日、お葬式が行われ、荷馬車の運転手全員がそこに集まりました。

荷馬車を引く馬たちは、近くの野原で待たされながら草を食べています。

馬たちは、ひどい扱いを受けていることをお互いに話し合いました。

1. 人と馬の数を数えてみましょう。人と馬、どちらの方が多いですか？どのくらい多いでしょうか？
2. 人の足は全部でいくつありますか？2つずつ数えてみましょう。いくつまで数えることができますか？
3. 馬の脚を数えるには、いくつずつ数えるとよいでしょう？たくさんありますね。いくつまで数えることができますか？



「馬具の大きさが体に合っていないんだ。きつ過ぎて肌に食い込んで痛いよ」と、ある馬が文句を言います。

「私もよ」と別の馬が声を上げます。

1. 本物の馬たちは、どのようにして会話しているのでしょうか？
2. 馬の体の部分で、対(2つで一組)になっているのはどこで、対になっていないのはどこでしょう？
3. 対になっている部分は、それぞれ馬の体の反対側にあります。同じような動物は他にいますか？違う動物は思い浮かびますか？

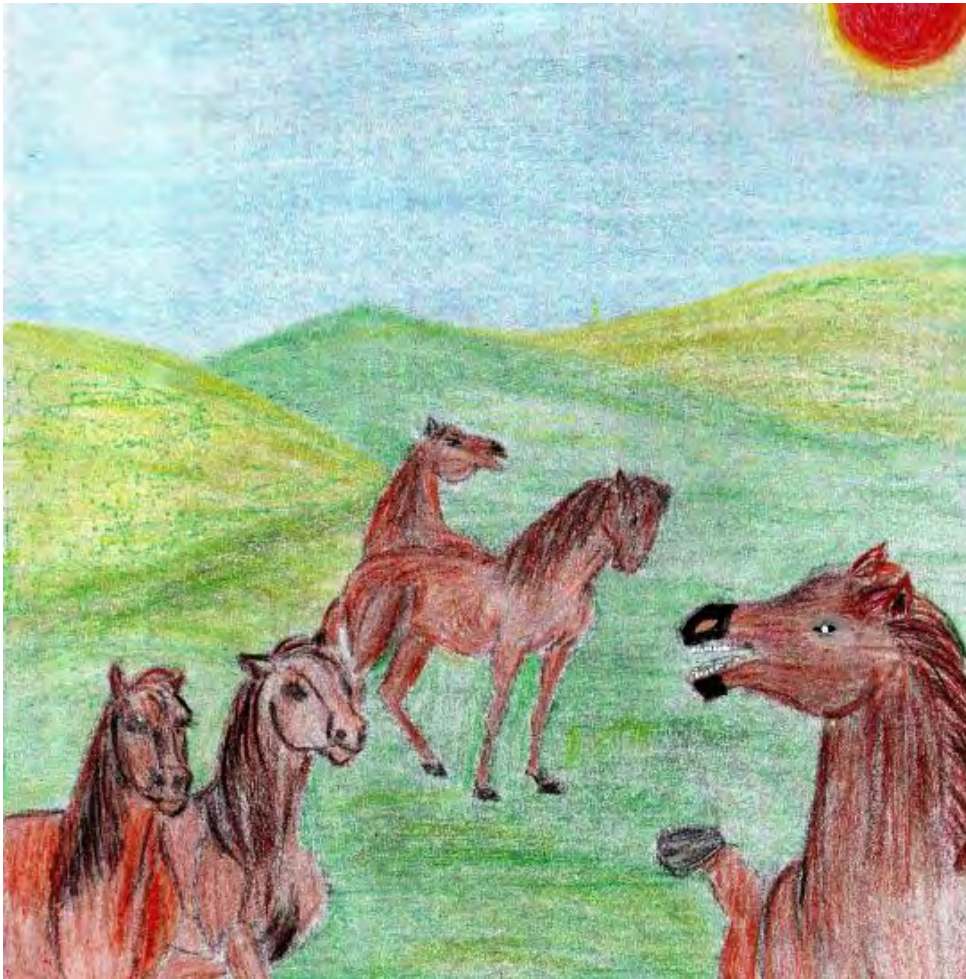


年取った馬が「蹄鉄の付け方が悪くて、まともに歩くことができなくなってしまった」と嘆くと、さっきよりもたくさんの馬がうなずきました。

1. 馬の飼い主は、どうして馬をそんなにひどく扱うのでしょうか？わざと意地悪をしていて、自分たちがひどいことをしていると気づいていないのでしょうか？

2. 馬たちは、ひどい扱いを受けていることについてどうしたらよいと思いますか？

3. ここには、5頭の馬が描かれています。しっぽ、耳、脚は、それぞれいくつありますか？耳と脚を数えるとき、2つずつ数えましたか？それとも、しっぽの数を数えて2倍にしましたか？



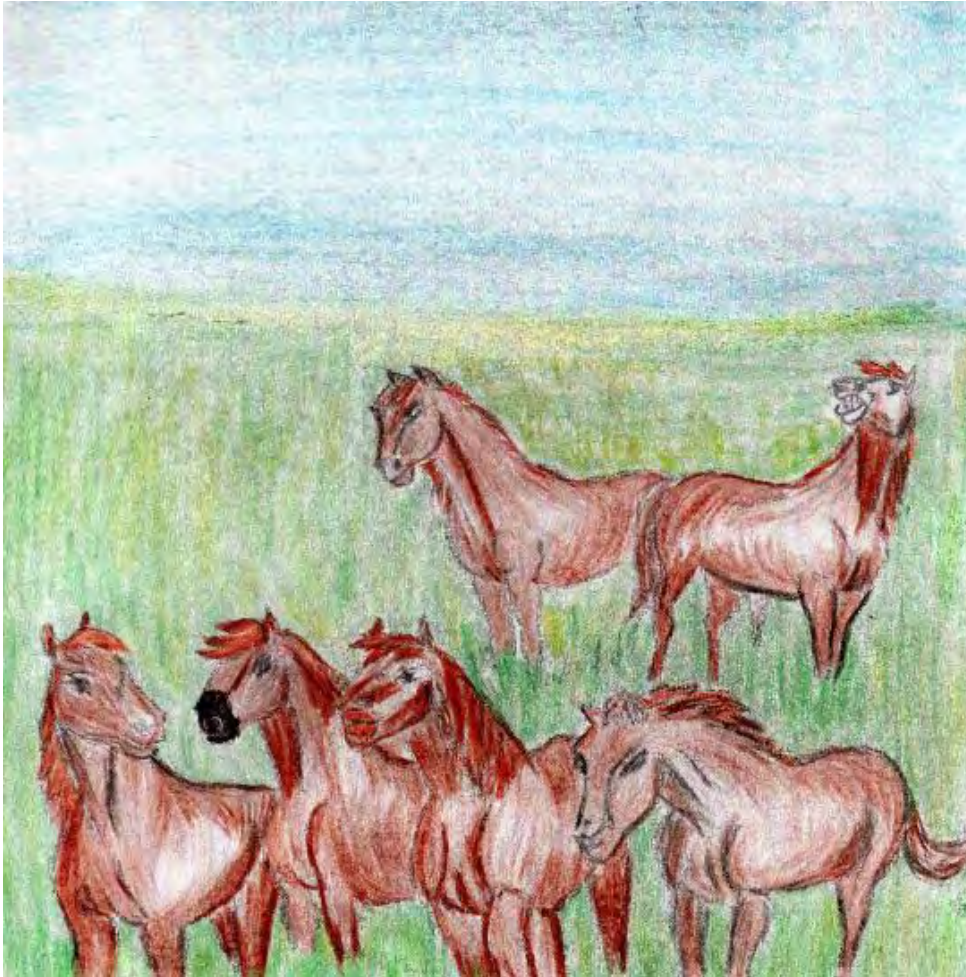
「オレたちは一生懸命に働いているのに、ほとんどの飼い主はオレたちにひどい仕打ちをする。オレたちの世話の仕方を知らないヤツが多過ぎる」

チャルがそう叫ぶと、馬たち全員が「そのとおりだ」と言いました。

1. チャルは自分たちに対するひどい扱いについてどうにかするために何を言うと思いますか？

2. この絵には5頭の馬がいて、2頭ずつ2つの組になり、1頭が残っています。2頭で一組になるようにして、5頭の馬全部を分ける方法がありますか？2つずつ分けた場合に分けきれない数を「奇数」と言います。

3. 他の奇数についても考えてみましょう。2人の人がいて、奇数のものがある場合、同じ数ずつ分けることはできません。つまり、等分する(平等に分ける)のは無理だということです。



「もっと良い環境で働けるように、ストライキをしよう！」とチャルが呼びかけると、他の馬たちは「そうだ、そうだ！」と賛成しました。

そして、運転手が反省してくれるまで野原から動かないことに決めました。

1. ストライキとは、労働者が揃って働くのを止めて、自分たちの待遇を見直すように会社に求めることです。ストライキは、労働環境を良くするために行われることも、賃金を上げるために行われることもあります。

2. ストライキをした場合のリスク(困ること)は何ですか？(たとえば、長い期間お給料がもらえなくなり、クビにされるかもしれないなど)

3. 2つずつ分けた場合に分けきれぬ数を「偶数」と言います。この絵の中には6頭の馬がいます。すべて、2頭ずつに分けることはできますか？6は奇数ですか、それとも偶数ですか？



荷馬車の運転手たちは、すっかり困ってしまいました。

「他の馬を買えばいいさ」と、誰かが言い出します。

けれど、ほとんどの運転手は、そんなお金などなく、馬がいなければ生活できません。

1. この絵には何人の人が描かれていますか？座っている2人を除く(引き算する)と、立っている人は何人ですか？

2. 絵の中にいる人の数は奇数と偶数のどちらですか？同じ人数ずつ二組に分けることはできますか？できるなら、偶数です。できないなら、奇数です。

3. 馬の飼い主である運転手たちは、何を心配していますか？彼らが気にしているのは、馬の気持ちでしょうか、それとも、自分たちの商売のことでしょうか？



運転手たちは、全員集まり、ストライキについて長い間あれこれと話し合いました。

「馬たちの言うとおりかもしれない」と言う者もいれば、「どうして馬たちにもっと良い環境を与えてやらなければならないんだ？」と言う者もいます。

1. 絵の中では何人の人が集まっているか推計してから、実際に数えてみてください。できるだけかまいません。何人いるでしょう？「推計」とは、一目見るなどして得た部分的な情報から経験や学習に基づいて考え当てることです。

2. 推計は、楽しいゲームにもなります。外を歩いているときなどに、周りにあるものや人を一まとまりにして、その数をみんなで推計してから、実際の数を確かめてみましょう。誰が一番正解に近いでしょうか？

3. 馬の飼い主たちはどうやって馬が何を望んでいるかわかるのでしょうか？馬が飼い主たちに話したのでしょうか？



馬たちのストライキは、チャルがいるデブレ・ベルハンの町からエチオピアの国中に広がりました。

3百万頭近く of 馬が働くのを止めてしまいます。

馬たちは「もう、こりごりだ。もっとまともな扱いをしてくれ!」と訴えました。

1. 「3百万」は、とても大きな数ですね。あなたの身の周りで、100以上の数のものを思い付きますか? 1,000以上は、どうでしょう?

2. あなたの身近で、労働者のストライキについて耳にしたことはありますか? そのストライキは成功しましたか? それとも、労働者が途中であきらめてしまいましたか?

3. 本当に何か欲しいものがあるのに手に入りそうにないとき、あなたならどうしますか? それはうまくいくのでしょうか?



そこで、荷馬車の運転手たちは態度を改めなければならなくなりました。

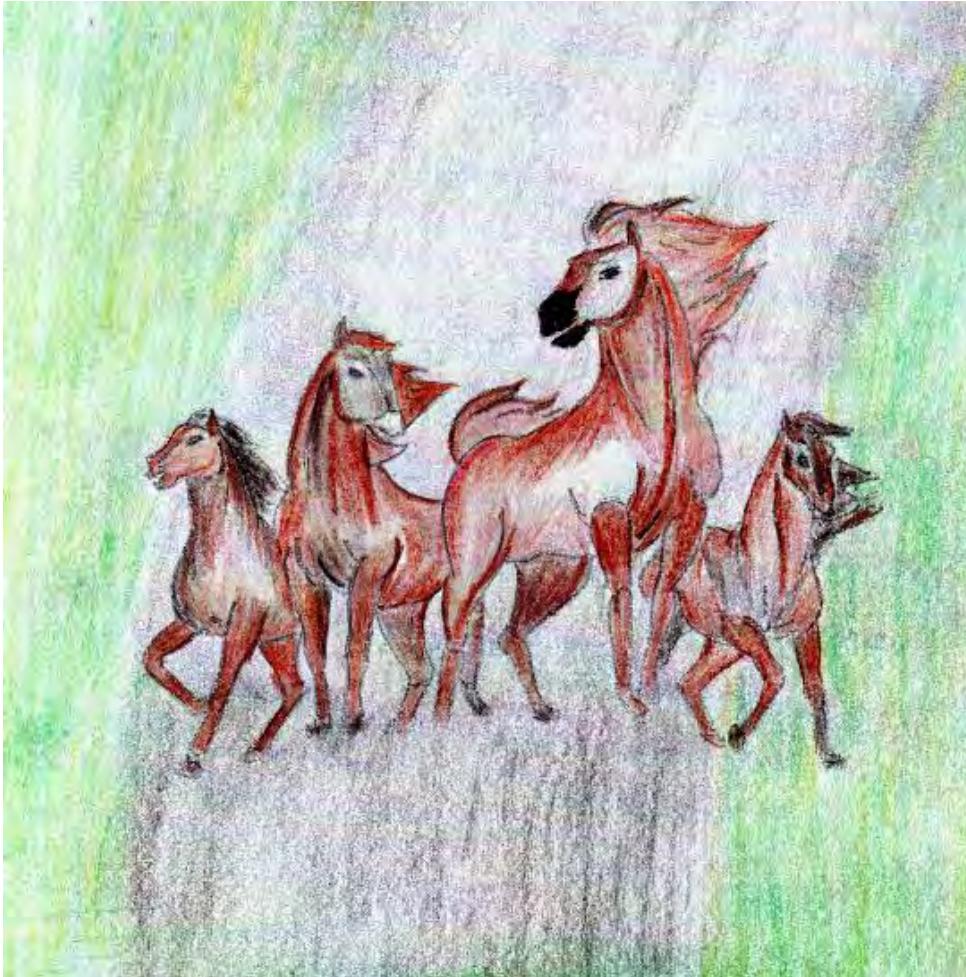
どの馬についても、もっと良い環境で働けるようにし、まともに扱うことを認めました。

運転手たちは、馬の世話の仕方を勉強して、馬がケガや病気をしないようにしました。

1. 馬をもっと大切にするとは、馬のために正しい行動であるだけでなく、馬がもっとよく働くようにするためにも賢いやり方です。

2. 馬をもっと大切にするのが良い考えなら、どうして運転手たちはずっとそうしてこなかったのでしょうか？

3. そうしていれば楽そうだと思うことが、長い目でみると良くない考えである場合があります。あなたは、これまでに、何かを先延ばしにして後悔したことはありますか？



だんだんと、馬たちの生活は良い方になっていきました。

十分な食べ物と休みがもらえるようになったのです。体に合った馬具が使われ、蹄鉄も正しく取り付けられるようになりました。

チャルは、すべての馬から感謝され、尊敬されるようになりました。

1. チャルは、リスクを冒してでも、大事な目的を果たすために貢献しました。そのようなことをした人を思い浮かべることができますか？

2. あなたは、少し無理をしてでも他の誰かやグループを助けようとしたことはありますか？あなたの行動は変化をもたらしましたか？

3. 人の役に立つと、どんな気持ちになりますか？

Horses of Debre Birhan

Author -- MezemirGirma

Illustration -- YirgalemBirhanu

Language -- English

Level -- Firstparagraphs

© African Storybook Initiative 2020

Creative Commons: Attribution 4.0

Source www.africanstorybook.org